

〔様式1〕 平成18年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成18年4月27日		記入者		連絡先 2213
部 名	総務部	課 名	総務課		課長名 今田 良
事務事業名	例規集管理更新事業				
予算上の事務事業名	例規集管理更新事業				
1 総合計画における位置づけ			施策コード		
基本目標	#N/A				
政策名	#N/A				
基本施策名	#N/A				事業開始年度
施策名	#N/A				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	サービス提供				▼
5 事業概要					
(1) 事業の目的 (何のために行うのか、またはもたらしたい成果)			(2) 対象 (誰、何)		
相模原市の例規を適切に管理し、業務の適切な執行を助けるとともに、ホームページ等を通して、市民誰もが例規を参照できるようにするもの。			職員及び市民全般		
(3) 平成17年度事業の内容 (活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容 (活動) なのか。					
例規データベースの更新 例規集加除 相模原市ホームページ更新 各5回 (5月、7月、8月、11月、2月) CD-ROM版例規集作成 1回 (8月)					
6 関連・類似事業や他市の状況					
全国的に例規のデータ化が進んでおり、紙の例規集の廃止を行う自治体も増えている。					
7 事業費の推移 〔単位：千円〕					
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業費	13,199	9,958	13,712	17,790	8,232
一般財源	13,199	9,958	13,712	17,790	8,232
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	800	800	800	800	400
事業コスト合計	13,999	10,758	14,512	18,590	8,632
8 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (または、主たる事業名)	例規集管理更新事業			対象名称と単位	データ更新及び加除 (回)
年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業コスト(主たる事業)	13,999	10,758	14,512	18,590	8,632
対象数	5	5	5	5	12
単位あたり経費(円)	2,799,800	2,151,600	2,902,400	3,718,000	719,333
前年度比		0.77	1.35	1.28	0.19

9 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	更新回数（回）	指標式と指標の説明	例規データベースの更新回数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	5.0	5.0	5.0		
目標	5.0	5.0	5.0	5.0	12.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
10 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	編集及び登載ミスがなかった更新数	指標式と指標の説明	更新にあたり編集及び登載ミスがなかった回数		
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度（目標）
実績	5.0	5.0	5.0		
目標	5.0	5.0	5.0	5.0	12.0
目標達成度（%）	100.0	100.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A：効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い]					
C	<input type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]					
有	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	・民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
★★	[★★★★]：良好な状態を維持する事業				
	[★★★]：概ね良好な状況である事業				
	[★★]：見直しを行う必要がある事業				
	[★]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		市政に関する重要な事項を市長及び職員に周知することを目的とする事業であり、今後も充実して継続していくことが必要である。そのために、委託の拡大やコストの見直しなどを行いつつ、更新回数の増加などを検討していく。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
例規データベースの管理を民間委託することで人件費の削減ができる。 紙の例規集を年刊の単行本とし、加除をなくすことで人件費及び事業費を削減できる。 データの更新を年12回とすることで、より新しい情報を市民及び職員に提供できる。			・事務効率の面で見直しの余地があること ・コストの面で見直しの余地があること		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			